

運輸デジタルビジネズ協議会(TDB C)のSDGsカーボンニュートラル・エコドライブワーキンググループ(WG09)は9日、三井住友海上火災保険とともに「SDGsナレッジバンクセミナー」を開催。愛知県では初の実施となり、三井住友海上名古屋ビルを会場にオンラインでも参加者を募った。

セミナーは運送事業者の脱炭素化と経営強化支援を目的に企画されたもので、荷主との関係構築や人材確保など、SDGsを経営に活かす視点が共有された。

第1部では、三井住友海上火災保険MS&AD経営サポートセン

ターの山下賢二リスク

アドバイザーがSDGs

に取り組み意義やメ

リット、実践ステッ

ブを解説。「選ばれる

会社になるためのキ

ワードは共感」として、

理解と実践、情報開示

の重要性を主張した。

に、営業倉庫の屋根へ

システムを全社導入して

ラック・セーフティ

以来「コソコソと継続

しながら新しいこと

に、挑戦している」とし、

半年間の無事故・無違

反達成を報告。さら

に、営業倉庫の屋根へ

システムを全社導入して

ラック・セーフティ

愛知県内3社が事例紹介

TDBC・三井住友海上 SDGsセミナー

第2部では、WG09のソーラーパネル設置

リーダーの幣旗貴行による発電・遮熱効果

氏(セイリョウライの両立、整備工場や倉

ン)が冒頭にナレッジ車での外国人材採用な

バンクの概要と活動状

況を説明した後、愛知

県内の運送会社3社の

経営者が自社の取り組みを公表。安藤運輸

り組みを継続する姿勢を表

明。

東山物流

(東海市)の

吉田賢吾氏

は、物流DX

の具体例とし

てAI荷量判

別による積載

効率化、自動

フォークリフ

ト(AGF)導入によ

る省人化と安全性向上

を発表。加えて、小学

校での交通安全教室や

地域イベントでのト

ラック提供といった地

域貢献活動を挙げ、業

界イメージの向上と担



(左から) 幣旗、安藤、渡邊、吉田の各氏

(富田 香)

レイアウト: 文野初音